



テクニカル・メッセージ

デュトロ ディスクブレーキ装着車の正しいブレーキ操作方法とパッドの残量点検について

ディスクブレーキ装着車において、車両を停車させる場合や下り坂を走行した際、エンジンブレーキやエキゾーストブレーキを併用せず、フットブレーキのみを頻繁に使用すると、ブレーキパッドが早期に摩耗、さらに使用限度を超え使い続けると、ブレーキパッドが脱落し、ブレーキの効きが著しく低下する事から、思わぬ事故につながる恐れがあります。このため、下記の要領で正しいブレーキ操作及び点検整備を徹底して頂きます様、お願い申し上げます。

1. 対象車両

小型トラック デュトロ 総輪ディスクブレーキ装着車

2. ブレーキ操作方法について

- 急勾配や長い坂道を下るときは、あらかじめブレーキをかけ、正常に作動することを確認して下さい。
- 下り坂では、上り坂と同じ変速段を使用し、エンジンブレーキ(*1)、エキゾーストブレーキ(*2)を有効に活用し、必要に応じフットブレーキを併用して、スピードの出しすぎに注意して下さい。
- 通常走行時においても、車両を停車させる際は、エンジンブレーキ、エキゾーストブレーキを有効に活用し、あらかじめ減速させてから、フットブレーキを使用して下さい。

注)

- *1:エンジンブレーキとは、走行中、アクセルペダルから足を離れたときにかかるブレーキ力です。低速ギヤほどよく効きます。
- *2:エキゾーストブレーキとは、補助ブレーキでエンジンの排気管の通路を狭めることで、エンジンブレーキの補助としてブレーキ力を向上させます。

3. ブレーキパッドの残量の点検について

- ブレーキパッドの摩耗点検については、法定の定期点検項目です。必ず実施下さるようお願いいたします。

点 検 時 期
事業用3か月ごと(距離項目)
自家用1年ごと

- ブレーキパッドが摩耗限度を越えると、ブレーキからのキーキー音により運転者に知らせます。走行中キーキー音が発生したときは、ただちに最寄の日野整備工場で点検を受けてください。
- ブレーキ負荷が大きい車両(高所作業車及びタンクローリ等の架装重量が大きい車両、山道登降坂路、悪路を多く走行する車両、フットブレーキを多用する車両等)においては、定期点検を待たずに使用状況によって随時点検を行って下さい。
- ブレーキパッドとロータのすきまは、自動的に適正な状態に保たれる為、調整は不要です。

●ブレーキパッド及びブレーキロータの厚さと使用限度は以下の通りです。

① **標準キャブ：積載量 2トン**

【GVW5トン車(但し4WD車およびシングルタイヤ車除く)】

点検箇所	ブレーキパッド		ブレーキロータ	
	基準値 〔新品時〕	使用限度 〔残り代〕	基準値 〔新品時〕	使用限度 〔ロータ厚さ〕
フロント・リヤ	12.0mm	1.0mm	30mm	28mm

② **標準キャブ：積載量 2～3トン・ワイドキャブ：積載量 2トン**

【GVW5トン超え車、GVW5トン車の4WD車及びシングルタイヤ車】

点検箇所	ブレーキパッド		ブレーキロータ	
	基準値 〔新品時〕	使用限度 〔残り代〕	基準値 〔新品時〕	使用限度 〔ロータ厚さ〕
フロント	14.0mm	3.0mm	35mm	33mm
リヤ	14.0mm	1.0mm	30mm	28mm

※シングルタイヤ車はフロントのみディスクブレーキです。

③ **標準キャブ：積載量 3.5トン超・ワイドキャブ：積載量 2.95トン超**

点検箇所	ブレーキパッド		ブレーキロータ	
	基準値 〔新品時〕	使用限度 〔残り代〕	基準値 〔新品時〕	使用限度 〔ロータ厚さ〕
フロント・リヤ	13.0mm	1.0mm	40mm	38mm

※ブレーキパッドの使用限度を超えたまま走行しないで下さい。

●使用限度を超えて使用すると、ブレーキの効き具合が大幅に低下します。

また、ロータが損傷する恐れがあります。

4. **ブレーキパッド耐摩耗性向上品について**

お客様の使用条件(高所作業車及びタンクローリ等の架装重量が大きい車両、山道登降坂路、悪路を多く走行する車両、フットブレーキを多用する車両等)によっては、ブレーキパッドが通常よりも早く摩耗する場合があります。このため、耐摩耗性を向上させたブレーキパッドの設定がありますので、最寄の日野販売会社へご相談ください。